



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 北村美紗

**【研究責任者】**

聖路加国際病院 臨床研修部 北村 美紗

**【指導医】**

聖路加国際病院 一般内科 西澤 俊紀

# 当院に誤嚥性肺炎の診断で入院となった方を対象とした

## 自宅退院率に関する研究

### 1.研究の対象

2012年4月～2022年6月の間、当院での受診歴において初めて誤嚥性肺炎の診断で入院となった80歳以上の患者さんを対象にします。(ただし下記の項目に1つでも当てはまる患者さんは、今回の研究の対象にはなりません。①入院後1週間以内に集中治療室に入室となった患者さん、②入院時より胃瘻や中心静脈栄養をしていた患者さん、③入院後48時間以内に経口摂取を開始した患者さん)

### 2.研究の目的・方法

現在高齢の誤嚥性肺炎においては、入院後2日以内に経口摂取を開始した場合より早期に自宅退院できると報告されていますが、嚥下機能低下などの理由で早期に経口摂取ができない方もいらっしゃいます。そのような方に対して経腸栄養や高カロリー輸液などによる早期の栄養療法を行うことにより、良好な結果につながるかどうかについて調査することで、早期栄養療法が標準医療として実践されることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

### 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、身長、体重、BMI、入院前の住居の種類(自宅/施設など)、肺炎の重症度、入院時の日常生活機能動作(どれくらい自立して生活できるか)、合併症の有無、1週間以内に経管栄養が始まったかどうか、1週間以内に高カロリー輸液が始まったかどうか、退院時の日常生活機能動作、退院先の種類(自宅/施設か、転院か)等